

1-2 高崎市の歴史

(1) 城下町の歴史

「高崎」の歴史は、慶長3年（1598年）、徳川四天王の一人、井伊直政が交通の要衝であった和田の地に箕輪から城を移し、地名を高崎と改め、城下町が成長したことが始まりとなります。その後、中山道が整備され、幕末期には絹や生糸貿易が活況となります。明治になると、県下初の英学校が開かれ国際交流が始まるとともに、上野・高崎間の鉄道開通により近代的な交通拠点都市として、さらに県都、軍都としての歴史を経て産業都市として現在に至っています。

■ 高崎城址



■ 箕輪城跡



(2) 高崎市の成立と合併

本市は、明治33年（1900年）4月に市制を施行し誕生しました。その後、昭和40年（1965年）までに周辺14町村と合併し市域を拡大しました。平成18年（2006年）には倉渕村・箕郷町・群馬町・新町・榛名町と合併し、平成21年（2009年）には吉井町と合併して今日の高崎市に至っています。

(3) 近年のまちづくりの経緯

年月				出来事
平成	23年	3月	4日	高崎市都市計画マスタープラン改定
		3月	19日	北関東自動車道全線開通
		4月	1日	中核市移行・屋外広告物規制開始
	26年	2月	22日	高崎玉村スマートインターチェンジ（SIC）開通
		6月	6日	高崎玉村スマートインターチェンジ周辺地区 市街化区域編入
		8月	31日	東毛広域幹線道路 全線供用開始
		12月	22日	上信電鉄上信線 佐野のわたし駅開業
	31年	1月	8日	高崎市総合卸売市場周辺地区 市街化区域編入
令和	元年	6月	1日	浜川運動公園内ソフトボール場供用開始
	2年	3月	31日	高崎市立地適正化計画策定
		7月	11日	浜川運動公園内テニスコート供用開始
		11月	20日	高崎複合産業団地（西）地区 市街化区域編入
	7年	3月	31日	高崎市都市計画マスタープラン・高崎市立地適正化計画改定